

労働条件向上の【春闘】と生活向上の【政策実現】

なぜ連合群馬は1万人アンケートを行うのか？

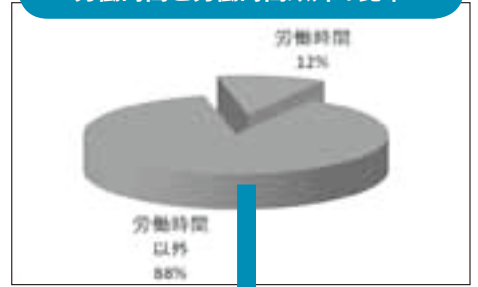


右のグラフは、人生80年と仮定したときの一般的な勤労者の生涯時間を表したものです。高校を卒業し、65歳までの年間総労働時間を2,000時間とした時、企業や職場にいる時間は、人生のうちわずか12%でしかありません。

この時間で起きる賃金や働き方などの問題に対しては労使交渉によって解決が出来るかもしれませんが、残りの8割強は、地域社会の中で生活をしているわけであり、私たちがより良い人生を送るためには、地域社会の問題・課題こそ解決していく必要があります。

連合群馬が運動を通じて地域社会の課題に対し、「政策・制度要求提言」という形で活動が出来るということは多くの組合員が参画しているという結果であり、まさに私たちが結集している意味がここにあります。この「政策・制度要求と提言」を作成するにあたっては組合員をはじめ、地域住民の意見集約を行い群馬県民の声として各自治体の首長に意見提起を行っています。そして県民の意見集約の取り組みの1つとして「県民意識調査(アンケート)」の展開があり、組織内:組織外=4.5:5.5の比率で集約をお願いしています。毎年県内在住の1万人を超える幅広い職種・年代の方からご協力をいただき、政策要求の信ぴょう性を高めるために活用するとともに、詳細な分析を行っています。

一般的な勤労者の生涯人生における労働時間と労働時間以外の比率



圧倒的に地域社会で過ごす時間の方が多い!



政策・制度要求と提言に向け始動

県民意識調査の作成にいたっては、昨年末から、構成組織・地協で構成する政策委員会が中心となって作成しています。また、議員懇も加わり、県政の課題を盛り込みながら作成しております。

なお、今年は下記の5項目が主なポイントとなっています。

- ・ 地方創生
- ・ 障がい者雇用
- ・ 教育の推進
- ・ 選挙権年齢の引き下げ
- ・ 地域包括ケアシステム



「県民意識調査」は2月より実施中です。お手元にアンケートが届きましたら、ご協力を宜しくお願いいたします。

【連合の政策実現】について、取り組みの意義や実現に向けた具体的な考え方についてシリーズで解説をしていきます。今回は「県民意識調査」について、解説しました。次回は、これまでの提言の成果や予算への反映実績などを解説します。

連合群馬の運動について学ぶ

1月16日、前橋市総合福祉会館において、新たに地協や産別の役員になられた方を対象に新任役員研修を開催し49名の方が参加。

研修の前半では労働組合の歴史、連合ならびに連合群馬の労働運動の考え方や私たちが目指すべき方向について、後半では連合群馬の第15期活動方針である7つの項目について学習しました。

参加者からは地協に求められている機能などについての質問や地協機能の全体での共有化が重要など、活発に意見交換が行われ、有意義な研修会となりました。

